



公益財団法人静岡市文化振興財団設立 20 周年記念事業キナナルスキナナルプロジェクト

## タノシサレンサ会議

### PRESS RELEASE

#### 1 企画概要

静岡にもこんなに熱くて面白い人たちがいるんです！

静岡市生涯学習センターは、次世代を担う若者たちを対象に、「静岡で自分らしく生きている」ゲストを毎回招き、その生き方や考え方をさぐるトーク&ディスカッション『タノシサレンサ会議』を開催します。ゲストの話を通して「聞く、考える、対話する」ことで、自分の中の「あたりまえ」から抜け出し、新たな気づきが得られる企画です。みんなの「タノシサ」があなたへと「レンサ」すれば、きっと充実した日々のヒントがみえてくるでしょう。本企画がきっかけとなり、ここから広がる出会いの場を作りたいと考えます。

#### 2 実施概要

開催日時：平成 26 年 9 月～11 月（土）14:00～17:00（全 5 回）

- ① 9 月 20 日（土）
- ② 9 月 27 日（土）
- ③ 10 月 11 日（土）
- ④ 10 月 25 日（土）
- ⑤ 11 月 8 日（土）

対 象：20～30 代

定 員：20 人

会 費：無料

申 込：【HP】【往復ハガキ】 葵生涯学習センターへ（8 月 30 日（土）必着・多数抽選）

主 催：静岡市葵生涯学習センター



### 3 企画意図・特徴

#### ① 「人」から発信する静岡の魅力

本企画のポイントの一つは、毎回登場するとにかく熱いゲストたち。

大学教授、路上生活者と踊るダンサー、日本に帰化したスリランカカレー屋さん、静岡まつり実行委員長 …and more !

切り口は様々ですが、彼らのユニークな着想や熱意には、人の心を動かす力があります。本企画は、ゲストたちの生き方や考え方を通して、次世代を担う若者たちへ「では自分だったら何ができるだろう？」という気づきを与えるとともに、「人」という視点から地域の魅力を発信する取り組みです。

#### ② 「聞く、考える、対話する、気づく」

タノシサレンサ会議は、これまでの「聞く、聞く、聞く、帰る」というプロセスではなく、「聞く、考える、対話する、気づく」というプロセスで構成されています。ここでのゲストの話は、参加者が自分の考えを他の参加者とシェアするための材料です。ゲストの話聞き、自分の頭で考え、他の参加者たちと対話することで、新たな気づきがあるはず。自己で完結するだけではなく、人との関わりの中で、楽しさや気づきを得られることが本企画の醍醐味であり、この「タノシサ」の「レンサ」が、やがてまちを動かす原動力になるかもしれません。

#### ③ 大人の「学びの場づくり」

組織で働く人たちは、研修、仕事経験、職場の人々との関わり等、このような様々な機会を通して、いわゆる「仕事の型」を身につけ、一人前になります。会社という組織に適応することが最優先される中、暗黙のうちにその場で支配的な枠組みに自らとらわれ、その結果、果てしない定型業務と惰性化の中で、ものの見方が固定化し、ステレオタイプ化していきます。

しかし、今や外部環境の激しい変化によって、組織は常に再編されていきます。永久に安泰な組織などありません。このような社会にあっては、凝り固まった「ものの見方」を変える柔軟性を持ち、必要に応じて学習し直すことができる人材が求められます。そのためには、まず染みついた思考形式に裂け目を入れることが必要であり、その契機となるのが、組織の外部という学び場で、多様で異質な人々と出会い対話すること（本企画）です。異なる分野や立場の人々による学びのサイクルが続いていくことで、今までにはなかったような新たなコミュニティやアイデアが生まれていきます。これは、大人の「学び場のづくり」であり、変化の時代を生きる人々にとって、今後欠かせないものとなっていくでしょう。



## 4 各回内容について

第1回 9月20日(土) 14:00~17:00

**テーマ「ホームレスのおじさんたちのダンスが気になる」**

ゲスト：アオキ裕キ氏（振付家・ダンサー）

内 容：おじさんたちの肉体表現からは何が生まれるのか？という興味から、路上生活者の踊りを主体とした肉体表現企画「ソケリッサ！」の活動を始動したアオキさん。そのユニークな着想とボーダレスな可能性を秘めた活動に迫ります。

第2回 9月27日(土) 14:00~17:00

**テーマ「中吊広告を見てたら、スリランカに来てました。」**

ゲスト：今井奈保子氏（フェアトレードショップ Teebom 店主）

坂本紗司斗スレンダラー氏（スリランカカリーSahiru17 店主）

内 容：海外での長い経験を経て、現在静岡で活躍する二人のゲストが自身の活動、人生の転機、その裏にある思いを語ります。トークセッションを通して、「生きる場」としての土地・静岡について考えます。

第3回 10月11日(土) 14:00~17:00

**テーマ「ブレない仕掛け人が気になる」**

ゲスト：青山弘己氏（静岡まつり実行委員長） …仕掛け人 and more !

内 容：ユニークな着眼点。それをどうアウトプットしているのか。静岡の魅力をイベント等を通して発信しているゲストを招き、その活動に迫ります。

第4回 10月25日(土) 14:00~17:00

**テーマ「のんべえ二人が文化を語る」**

ゲスト：竹之内裕文氏（静岡大学大学院農学研究科教授）

中村大輔氏（元春日保育園調理師）

内 容：キッチンで「のんべえ」たちがフランス料理を前に文化を語ります。普段何気なく行う「食べる」という行為の中から、静岡の「文化」を考えます。

※ただし、ワインはありません。

第5回 11月8日(土) 14:00~17:00

**テーマ「タノシサ20レンサ！！」**

ゲスト：竹之内裕文氏（静岡大学大学院農学研究科教授）

内 容：これまでのゲストが持ち寄ったタノシサと、受講者のタノシサがついにレンサします。20人以上のタノシサで作る輪の中に、楽しくて新しい生き方を探します。

## 5 講師プロフィール

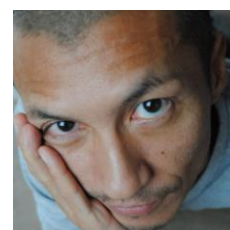
### 竹之内裕文（たけのうち ひろぶみ）

静岡大学大学院農学研究科教授。専門は哲学・死生学・生命環境倫理学。支配からの卒業を目論む青年期を過ごした酒好き、人好き、家族大好きな母性あふれる熱い40代中年男。大学入学後の父の死を契機に、「死の訓練」として哲学の道へ。大学の枠をこえて、在宅緩和ケアの現場と連携するなど、人の営みの現場を大切に研究にも取り組んでいる。



### アオキ裕キ（あおき ゆうき）

"踊りは誰でも踊れる！"を提言。現代社会において社会不適合者と呼ばれる人たちの身体表現を芸術として社会提供すべく、路上生活者の肉体表現企画「ソケリッサ！」等の活動を展開中。



### 今井奈保子（いまい なほこ）

静岡市葵区北街道沿いで、フェアトレードショップ経営。会社を退職して青年海外協力隊(JICA ボランティア)としてスリランカでボランティア活動に参加。その後仕事を辞め、フェアトレードを含む社会企業を学ぶためにシドニー大学大学院へ留学。2010年地元静岡へ戻り、葵区北街道沿いでフェアトレードショップを開店。



### 坂本紗司斗スレンダラー（さかもとさじっとすれんだらー）

1996年来日し、日本人の奥様の実家がある静岡に居を構える。会社勤めをしながら、静岡市外国人住民懇話会委員や静岡県警のシンハラ語通訳としても活躍してきた。現在はスリランカカレーのお店を営業しながら、近々マッサージ店のオープンを計画中。



### 青山弘己（あおやま ひろみ）

1996年、第40回静岡まつりから市民による実行員会方式へと大きく変わり、「夜桜乱舞」「花見登城行列」等の新たな企画運営に携わる。第55回からは実行委員長（大老）として活躍している。



### 中村大輔（なかむら だいすけ）

箱根プリンスホテルに採用され、コックとなる。その後春日保育園の調理師を経て現在に至る。地域の食育活動にかかわる傍ら、週末はソフトボールに精力的に取り組む。とにかく体育会系の熱い男。





## 6 キニナルスキニナルプロジェクト

本事業は、公益財団法人静岡市文化振興財団設立 20 周年記念事業「キニナルスキニナルプロジェクト」の一環として実施します。豊かな自然と、おだやかな気候の中で育まれてきた静岡の歴史や文化。もっと身近に感じて、もっと好きになってほしい。そんな思いから、財団設立 20 周年の節目となる今年、5 つの「キニナル」静岡文化を、科学、美術、音楽、演劇・舞踏、生涯学習など様々な視点からご紹介します。もっと知って「キニナル」、もっと楽しんで「スキニナル」、そして個性あるしずおか文化を創り出す人になる。そんな「キニナルスキニナル」体験を、あなたも一緒にしてみませんか。詳しくは、ホームページまたはパンフレットをご覧ください。

公式サイト <http://www.kini-suki.shizuoka-city.or.jp/>

## 7 その他

タノシサレンサ会議キックオフイベント開催決定！！

『スペシャルトーク：「好き」は社会を変えていく。』

ゲスト：齊藤俊秀氏（エスパルスアンバサダー）

柚木康裕氏（オルタナティブスペース・スノドカフェオーナー）

異なる分野で活躍する二人が語り合い、発見し合う。

清水エスパルスの元選手であり、現在はエスパルスアンバサダーとして、サッカーを通じた街おこしを提案する齊藤俊秀氏と、静岡市内でアートを軸に社会を盛り上げる活動を展開するオルタナティブスペース・スノドカフェオーナーの柚木康裕氏。

「サッカー」と「アート」という全く異分野のお二人ですが、「好き」というパーソナルなものを「社会貢献」というソーシャルなものに還元するという点においては、共通したものがあると言えます。「好き」という気持ちがどう社会に繋がっていくのか。分野の違う二人の対談を通して、「自分」と「社会」についてのあり方を考えていく企画です。

※本企画は「タノシサレンサ会議」へ向けて、受講者の心に働きかけるキックオフイベントとして実施します。

開催日時：平成 26 年 8 月 24 日（日）14:00～16:00（開場 13:30）

対 象：どなたでも 200 人

会 費：無料

場 所：葵生涯学習センター 1 階ホール

申 込：【HP】【電話】7 月 27 日（日）13:00～葵生涯学習センターへ（申込順）

## ゲストプロフィール

### 齊藤俊秀（さいとう としひで）

清水エスパルスに 11 年間在籍。ナビスコカップ優勝（1996）、リーグ戦ステージ優勝（1999）、そしてアジア・カップウィナーズカップ制覇（2000）と、クラブの歴史を塗り替える節目はいつもピッチにその勇姿があった。昨シーズンをもって現役を引退。今年 2 月からエスパルスアンバサダーに就任。



### 柚木康裕（ゆのき やすひろ）

アート・デザイン・音楽・フード・ファッション・エコなどを通して、幅広くコミュニケーションできるサロンのスペース「スノドカフェ」オーナー。地域と文化施設、アーティストを繋ぐ要として活動。静岡発、芸術批評詩『DARA DA MONDE』（だらだもんで）発行者。



## 8 お問合わせ

静岡市葵生涯学習センター 指定管理者 静岡市文化振興財団共同事業体

〒420-0865 静岡市葵区東草深町 3 番 18 号

TEL : 054-246-6191 FAX : 054-247-6486

<http://sgc.shizuokacity.jp/>

担当 : 山河・本間